

朝とは違って変わって昼休みの賑やかなこと。リレー大会はその学年だけでなく学年を問わず多くのギャラリーの歓声で賑わいました。



西南風

## あいさつ実態調査

令和7年3月11日  
第40号 文責 田中 宏和

### 正門・北門

北方面から登校する児童

通過児童:116人  
あいさつ児童:98人

あいさつ率

84. 5%

### 正門

南方面から登校する児童

通過児童:250人  
あいさつ児童:89人

あいさつ率

35. 6%

通過児童の合計は722人で、在籍児童数より140人ほど少ないですが、残りは調査時間帯外に登校しているか、遅刻又は欠席です。



### 裏門

東方面から登校する児童

通過児童:357人  
あいさつ児童:242人

あいさつ率

67. 8%

オハヨウ!...

スン...



的場地区の民家敷地内にあった「須屋校発祥之地」の記念碑が本校に移設されました。民家の取り壊しに伴い更地になるとのこと、合志市歴史資料館を通して本校に連絡がありました。五〇年前の百周年記念に建てられたもののように、正門入って右側にあります。ご来校の際には、ぜひご覧になってください。



登校してくる方面によって朝のあいさつの様子に差があることは昨年から体感していました。登校時間帯によっても差があります。日々見守っていただいている地域の方々も同じ感覚がおりかもしれません。そこで、実態調査をしてみることになりました。

結果は上記の通りです。一回きりの調査ですので偏りがあるのかもしれませんが、概ね体感通りの結果になりました。一番よくあいさつをしてくれるのは、正門と北門の北方面から登校してくる児童です。正門にいますと南方面から登校する児童の方が圧倒的に多いので、私はどうしても南方面を向いて登校指導をしがちなのですが、そんな私を振り向かせるようにあいさつを投げかけてくれます。また、北門は少ないのであいさつを人任せに出来ない状況があります。また、裏門は元気がいい。笑顔で返してくれますし、「おじねんせい」の声が遠くから聞こえてきたら、たいいてい数人の児童がキャッキヤ言いながら逃げるように走ってきます。ただ、ここは見通しが悪いので気を遣うところです。そして、一番気になるのは、本校の南方面から登校する児童です。友達とのおしゃべりに夢中だったり、目が合わない児童も多いです。坂を登り切って疲れているのかもしれませんが、照れ屋さんが多いのかもしれませんが私の「おはようございます!」の声もむなしく、スーッと通り過ぎていく子どもたちがいます。しかし、私はくじけずに挨拶を続けるのみです。また、毎度話しかけてくれる人なつこい児童が多いのも南方面の特徴です。四方八方から話しかけられ、囲まれ、身動きがとれないこともあります。幸せなことです。また、もう一つ感じていることは、あいさつができるのは低学年が多いということです。逆に言えば高学年のあいさつがイマイチなのです。思春期上等了。四・五・六年生の皆さん、下級生が驚く、憧れるようなあいさつを見せてやりましょうよ!

あいさつはやらなければその良さがわからないものです。今週の児童集会では今回の結果を子どもたちに伝え、三月中に再調査をすることを伝えます。ちなみに、帰りの挨拶は一〇〇%近いです。子どもたちが持ち前の力を発揮できるか楽しみです、なにより確信があります。